

4年生 「図画工作」の学習

4年生では、こんな学習をします。

* 学習の目標

- (1) 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに興味をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにします。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにします。
- (3) 自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに興味をもって見るとともに、それらに対する感覚などを高めるようにします。

授業の工夫

児童が『自分の気持ちで、のびのびと』想像力を働かせて自分の工夫を織り込みながら造形活動に取り組む楽しさを実感するような授業を心がけていきたいと思えます。

そのために、次のことをしていきたいと思えます。

- ・自分らしい表現方法を工夫する能力の育成
- ・表したいものの形や色を工夫して表現する能力の育成
- ・表現の意図を大切にして表現方法を工夫する能力の育成

中学年の図画工作では、材料とのかかわりの中で、自分らしい見方や表し方、デザインなどを工夫して表現する楽しさや見る楽しさを味わわせるとともに、造形的な創造活動への意欲と表現力を育てたいと思えます。

年間の学習計画

前 期		時間	6 6	7	6 6	11	12	13	9
単 元 ・ 題 材	1 絵の具のふしぎ	4	わすれられない日 コロコロコロガート		後 期	11 木から生まれた			9
	2 キラキラ光る絵	4				12 ハッピーカード			4
	3 ワンダーランド	4				13 作品バッグ作り			2
	4 ひもでつくろう	3	8	作品てんへ行こう	1 6 5				
	5 めのから生まれた	6	9	お話の世界					
			10	ゆめを広げて					

評価の観点

【造形への関心・意欲・態度】

自分の思いを表す体験を深めることに興味をもつことやつくったものなどに興味をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとすることができる。

【発想や構想の能力】

見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりすることができる。

【創造的な技能】

手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫することができる。

【鑑賞の能力】

自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに興味をもって見ることができる。

評価の方法

表現

- ・活動中の態度
- ・活動の内容

鑑賞

- ・自己評価カード
- ・発表や鑑賞カード

などを総合的に評価します。